

教育部長マニフェスト

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

私の思い

教育部長 尾野 晋一



教育委員会は、平成27年4月1日から、前年度までの「学校教育部」と「生涯学習部」の2部制から「教育部」の1部制へ組織の改編を行いました。教育部には、教育総務課、社会教育課、文化財課、スポーツ推進課、公民館、図書館、学務課、指導課及び小・中学校から構成され、それに伴い新たに教育部長と教育監（部長級）の職を設置しました。このたびの機構改革は、教育委員会各課の連携をこれまで以上に強化することで、それぞれが所管する事業に一部制のメリットをさらに生かしていくことが求められているものと理解しております。

平成27年度は、学校教育では一体型一貫校の計画の推進（特に柏原中学校区学校施設の統合）を含む特色ある幼小中一貫教育推進事業の取組及び全国学力・学習状況調査等の結果を含む学力向上に向けた取組などを優先課題として進めます。一方で、竜田古道の里山公園内に開設する自然体験学習施設を野外活動の拠点として活用し、青少年の健全育成、スポーツの振興など生涯学習の充実に努めます。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

重点課題

- ① 子どもたちの確かな学力の確立
- ② 教育環境の整備
- ③ 教育機会の均等と確保
- ④ 青少年の健全育成
- ⑤ スポーツの振興
- ⑥ 生涯学習の充実

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

部の施策概要

平成 27 年 4 月 1 日からの「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行により、今後、市長は総合教育会議を設置し、教育の目標や施策の根本的な方針である「大綱」を策定することになります。

平成 26 年 3 月に、柏原の教育の羅針盤となる「柏原市教育振興基本計画」を取りまとめました。この基本計画は教育委員会と市長部局とが連携・協働により策定したもので、先ほどの「大綱」のベースになるものと考えております。

よって、今年度の教育部長マニフェストは、「柏原市教育振興基本計画」に盛り込まれた施策内容に沿った項目の中から優先順位をつけて重点課題としております。

子どもたちの確かな学力の確立

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

戦略課題の目標

教育委員会が実施した「学校教育に関するアンケート調査（満足度調査）」から、基礎学力を付け、学習意欲を高める取組に関しては、満足度が高いとは言えない結果でありました。また、平成 27 年 1 月の「柏原市市民意識調査」でも、「教育指導」に関して重要度に比べ満足度が低いとの結果がでております。これらのことから、学力向上を大きな教育課題として位置づけ、その達成に向けた取組を進めます。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

施策推進上の目標

- 児童や生徒の学習意欲の向上と学力の向上を目指します。
 - ・全小学校で、学習習慣の定着と基礎学力の充実のため、放課後学習支援を行います。
 - ・小学校の授業に民間教育事業者を導入します。
 - ・中学校での塾講師による補習事業を拡大します。
- 教員の本来業務を支援し、児童・生徒の確かな学力を醸成します。
 - ・教職員用 ICT の充実を図ります。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトプット

- 「学力向上推進委員会」及び「学力向上対策委員会」を設置し、学力向上に向けた各校ごとの取組を進めます。
- 小学校全校で「柏原市スタディ・アフター・スクール事業（SAS）」を延べ1,955回実施します。
- 民間教育産業の人材（塾講師）や教材、資料の活用を推進します。
 - ・中学校の塾講師による数学の補習を5校に拡大し延べ135回実施します。
 - ・小学校2校で、民間教育事業者による国語の授業を開始します。
- 校務用パソコンを小学校へ各9台、中学校へ各7台を配備します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトカム

- 全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの各教科・区分における本市の平均正答率が、大阪府の平均正答率を上回ります。
- 市民意識調査における「教育指導」の集計結果
満足度 \geq 重要度

教育環境の整備

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

戦略課題の目標

子どもたちが、安全・安心な質の高い空間で学び、生活ができるよう、いじめの問題を含め、学校内外における安全・安心の確保に努めることが必要です。そのため、児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、また保護者や学校支援ボランティア、地域の関係団体の協力を得て、安全確保のための方策を講じます。また、耐震化工事などによる安全な施設環境の構築や学校の適正規模化など教育環境の質的向上を図ります。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

施策推進上の目標

- 子どもの安全の確保に努めます。
- 全、安心な施設環境の構築に努めます。
- 小・中学校の適正規模化、適正配置に向けて検討を始めます。
- 市全体でいじめ撲滅・いじめ問題への対応を進めます。
- 柏原中学校区学校施設の統合に向けた取組を始めます。
- 「次世代教育を考える会」を設置します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトプット

- 堅上小学校及び堅下南小学校へ遠隔地から通学する児童を対象に6月1日からスクールバスの運行を開始します。
- 玉手小1棟及び附属建物、国分小2棟及び附属建物、国分中1棟の校舎の耐震化工事を行います。
- 小・中学校の特別室及び小学校の支援教室4教室の空調設備工事を行います。
- 「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会」の設置及び諮問を行います。
- 全児童・生徒を対象にいじめアンケート「柏原市立小中学校生活のアンケート」を実施します。
- 「次世代教育を考える会」を6回開催します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトカム

- 学校アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」児童・生徒を増やします。
- 「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会」から中間報告及び答申を求めます。
- 市民意識調査における「教育環境」の集計結果
満足度 \geq 重要度

教育機会の均等と確保

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

戦略課題の目標

全ての子どもたちに教育機会を保障するため、支援を必要とする子どもについては、障がいの状況に応じて、一人ひとりのニーズに対する適切な教育を進めます。また、経済的な理由によって就学が難しい子どもの保護者に対して、必要な援助を行い、適切かつ迅速な就学支援に努めます。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

施策推進上の目標

- 障がいの状況に応じて適切な支援や配慮が可能となるようスクールカウンセラーの相談体制の充実に努めます。
- 障がいのある子どもたちの移動や日常生活の介助及び学習面を支援する人材の配置に努めます。
- 新たに支援教育就学奨励費制度を創設します。
- 就学援助や支援教育就学奨励費をそれぞれの基準にそって速やかに支援を実施します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトプット

- 小学校へのスクールカウンセラーを 3 人から 4 人に増員します。
- 小学校・中学校へ必要な介助員を配置します。
- 就学援助制度のうち中学入学関連費の年度内支給を実施します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトカム

- 児童や保護者などが抱える不安や悩みが解消します。
- 障がいをお持ちの児童・生徒の保護者の負担を軽減します。
- 就学援助などが必要な保護者へ支援を実施します。

青少年の健全育成

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

戦略課題の目標

「地域の子は、地域で育てる」の意識を高めて、青少年がたくましく健やかに成長することを目標に、学校、家庭及び地域社会が一体となり青少年の育成を進めます。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

施策推進上の目標

- 青少年健全育成活動の推進
- 青少年講座の充実
 - ・ 青少年講座の実施内容を一部見直し、新たに 2 講座を市内の大学と連携して開催します。
- 社会教育団体、青少年育成団体が行う事業や活動を支援します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトプット

- 「放課後子ども教室」を市内全小学校 10 校で実施し、その参加者数を 4,500 人以上とします。
- 青少年講座を実施し、その受講者数を 240 人以上とします。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトカム

- 子どもたちが地域とのつながりの中で健全に育つまちの実現を目指します。
- 市民意識調査における「青少年の健全育成」の集計結果
満足度 ≥ 重要度

スポーツの振興

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

戦略課題の目標

健康への関心が高まる中、市民のスポーツによる健康増進を進めるため、スポーツが健康増進や体力向上にもたらす効果など、スポーツの重要性に関する情報を市民へ提供するとともに、誰もが身近な地域で気軽にスポーツに親しむことができる機会づくりや、新たなスポーツの普及を目指します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

施策推進上の目標

- スポーツの推進
 - ・ 第3回スポーツフェスティバル in 柏原、2016 柏原シティキャンパスマラソンを開催します。
 - ・ 関係部局と連携し、サイクルスポーツの普及に向け取り組みます。
- スポーツ環境の充実
 - ・ 運動広場や体育施設の柔軟な管理・運営を図ります。
 - ・ 市立体育館での多彩なスポーツ教室を開催します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトプット

- 第3回スポーツフェスティバル in 柏原への参加者を昨年度実績(1,372名)以上とします。また、サイクルスポーツ普及のため、ストライダー教室を開催します。
- 2016 柏原シティキャンパスマラソンへの参加者を昨年実績(1,131名)以上とします。
- 学校体育施設の利用者を昨年実績(250,000名)以上とします。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトカム

- 市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに努めます。
- 市民意識調査における「スポーツ振興」の集計結果
満足度 ≥ 重要度

生涯学習の充実

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

戦略課題の目標

全ての世代のライフステージや市民ニーズに応じた多様な学習の内容や環境を整えるとともに学習により習得した知識や技術を地域に還元できる地域社会を目指します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

施策推進上の目標

- ライフステージに応じた多様な学習機会を提供します。
- 社会教育施設を使用した生涯学習を推進します。
 - ・ 特に7月1日からオープンする自然体験学習施設の利用した事業の実施
- 公民館の活用を進めます。
- 図書館の活用を進めます。
- 文化財の保存、整備及び活用を進めます。
- 「柏原学」の推進に向け、取り組みます。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトプット

- 自然体験学習施設を活用した事業を実施します。
 - ・自然体験学習施設 利用者数：2,600人以上
 - 多様なニーズに応じた公民館講座を開催します。
 - ・公民館講座 受講者数：400人以上
 - ・市民文化祭 参加者数：17,000人以上
 - 図書館利用者数等と拡大します。
 - ・図書貸出冊数：450,000冊以上 及び貸出人数：125,000人以上
 - 幼児向けの「お話会」や「紙芝居等」を始め、多様なニーズに対応した図書館行事を開催します。
 - ・「お話会」及び「紙芝居等」：1,800人以上
 - 市民文化会館（リビエールホール）を利用した市民参加型イベントを開催します。
 - ・リビエールホールでの市民参加型イベントへの参加者数：5,300人以上
 - 歴史資料館の企画展や史跡高井田横穴の特別公開を実施します。
 - ・歴史資料館来場者：18,000人以上
 - ・史跡高井田横穴特別公開参加者：300人以上
- 以上の事業について、その参加者数や利用者数等を昨年度実績以上とします。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

アウトカム

- 誰もが気軽に学習ができる環境づくりに努めます。
- 市民意識調査における「生涯学習」の集計結果
満足度 \geq 重要度